

君と共に

生徒指導・いじめ対策監だより



～新たな自分の可能性を拓く～

2022.5.6(金) 岐阜市立岩野田中学校

「いじめを見逃さない日」に思う ～「こういたい!」と願う岩野田中生徒の意思～

ゴールデンウイークも終わり、5月の暖かな日差しが心地よく感じます。眉山も、百ヶ峰の山々も新緑の美しさが眩しいです。同じ緑でも、様々な緑色があることに改めて気づきました。「みんなちがってみんないい」という言葉を思い出します。

さて、今日の朝活動の時間、「いじめを見逃さない日」として、プレゼンをさせていただきました。静かに、真剣に聞いてくれたことに感謝します。ありがとう。あなたの良さは何ですか?と問われたときに、自分の良さを語るのに困ったという経験はないでしょうか。自分の良さ。自分らしい個性が良さかどうか…、上手く語れないなんていう経験です。じゃ、岩野田中学校の良さって何?と他校の生徒から尋ねられたとしたらどうでしょう。自分の母校に自分なりの思いがあってほしいと願うところですが、岩野田中学校の良さを語れますか?

プレゼンで伝えなかったことは、当たり前に取り組んでいる「日常」の中に、いじめを起こさせない環境が築かれているということです。生徒玄関の揃った下足。生活委員会の願いに応える教室ロッカー環境への意識。雑巾のかけ方に誠実な掃除への取組の姿が伝わってくるこの嬉しさ。トイレのスリッパの揃い。時間が無くて、急いでトイレを済ませてもスリッパは木杵からずれないように整頓しようとする配慮。次の人への思いやりの“バトン”。決して、そのスリッパを上履きのまま履く生徒はいない。空き教室の机の揃いから、白熱した議論の様子まで思い描くことができる整った環境。牛乳ケースの美しさ。何日も前の汚れがヨーグルト化して異臭を放つことなど決してない。心ある誰かが、丁寧にケースの底まで洗っているから。ケースの底を指でなぞると、キュッ、キュッという気持ち良い音がします。嬉しくなります。いつも変わらず、誠実に掃除に取り組む多くの姿。頑張っているのに、「ボク、掃除、頑張ってるでしょ!」とは決して言わない。黙々とやりきり、美しくなったその場所には、心地よい空気が残り姿となってその存在を示している。そして、また明日、同じ場所を綺麗にしているその横顔。凛として美しいといつも思う。授業の教え合いは、仲間との考えをシェアし、挙手発言につなぐステップ。答えを教えるのではなく、答えにつながる考え方やキーワードを確認し合いながら、仲間と共に学んでいる。そんな学び合いの集団では、間違えることを笑うものは誰もいない。微笑ましい学びの空間の中で、自らの考えを、勇気をもって修正したり、再構築したりできる「安堵感」がある。気づきの瞬間が多くあり、自らの学びを深めている質の高い授業。給食配膳の静かな廊下。無駄のない効率よい、そして、一人一人に配慮した配膳など、まだまだ素敵な姿が多くあります。

このような、岩野田中の「日常」は、普段の当たり前の姿のように感じます。しかし、その当たり前の中に、誰もが安心して生活できる理由があるのです。何気ない「日常」を築き、支えている生徒一人一人の意識の中に、意味あることや値打ちあることをみんなで大切にしている日々があるからです。雑巾のかけ方にどんな意味や値打ちがあるんだろう…?牛乳ケースを綺麗にするのは当たり前だし…ではなく、そうしている人の配慮や温かさ、思いがあることに意味があるのです。この温かさの日常こそが、いじめを起こさせない尊い日々であることに、誇りをもってほしいと思うのです。今日、いじめを見逃さない日に、自分の良さ、岩野田中の良さや強みってこういうことなんだよって、仲間や保護者、地域の方に、是非語ってみてください。

意味あること、値打ちあることを

みんな大切に、

その価値を広げ、

誰もが安心して生活できる日常を、

みんな築いていく!